

- 問1 縄文時代には、重く割れやすい土器や土偶の制作、長期間の生活痕跡である貝塚の形成といった文化がみられます。これらの文化が形成された背景となる当時の人々の生活様式について、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 本格的な水稲耕作を行い、大規模な環濠集落をつくって暮らしていた。 | 2. 支配者の権力を示すために、巨大な古墳を造営して周辺で暮らしていた。 | 3. 堅穴住居などを拠点とし、一定の場所に定住して暮らすようになった。 | 4. 大型の野獣を狩猟するため、獲物を追って各地を移動しながら暮らしていた。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
- 問2 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。 | 2. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。 | 3. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。 | 4. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。 |
|---|---|---|--|
- 問3 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため | 2. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため | 3. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため | 4. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため |
|-----------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|
- 問4 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。 | 2. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。 | 3. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式の道具として用いられた。 | 4. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。 |
|---|---|--|--|
- 問5 縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|---|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた | 2. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた | 3. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた | 4. 自然の恵みに感謝し、食べ物の豊かさや安産などを祈るために作られた |
|------------------------------------|---|---------------------------------------|-------------------------------------|
- 問6 縄文時代の遺跡である貝塚が、当時の社会や生活を研究する上で「考古学的資料」として極めて重要視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。 | 2. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。 | 3. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができるから。 | 4. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあったことや、防衛のための組織的な仕組みがあったことを示すから。 |
|---|--|--|--|
- 問7 青森県にある三内丸山遺跡の特徴を説明した新聞記事において、この遺跡が「縄文時代の生活観を大きく変えた」とされる理由として、当時の人々の暮らしの様子を正しく説明しているものはどれか。（2025年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 打製石器を用いてナウマン象やヘラジカなどの大型動物を追いながら、移動生活を繰り返していた。 | 2. 青銅器や鉄器などの金属器が普及し、身分の差が生まれるとともに大規模なクニ同士の争いが起きた。 | 3. 大型掘立柱建物跡や多数の堅穴住居が見つかり、長期間にわたる大規模な定住生活が行われていた。 | 4. 本格的な稲作が始まり、食料を蓄えるための高床倉庫や、周囲を堀で囲んだ環濠集落が形成された。 |
|--|---|--|--|
- 問8 縄文時代において、人々が定住生活を送る中で作り出した遺物のうち、表面に縄目の文様が見られることが多く、食物を煮たり保存したりするために活用された道具の名称とその特徴として適切なものはどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 高温で焼かれた灰色で硬い、貯蔵用の須恵器 | 2. 古墳の頂上や周囲に並べられた、人物や馬の形をした埴輪 | 3. 厚手で黒褐色をしており、低温で焼かれた縄文土器 | 4. 薄手で赤褐色をしており、文様が少なく実用的な弥生土器 |
|-------------------------|-------------------------------|----------------------------|-------------------------------|
- 問9 縄文時代の人々が、食物の豊作や子孫の繁栄、あるいは病気や怪我の治癒などを願うための信仰として用いた、女性をかたどった土製の像を何と呼びますか。（2023年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 銅鐸 | 2. 土偶 | 3. 石包丁 | 4. 埴輪 |
|-------|-------|--------|-------|
- 問10 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------|------------------|----------------|------------------|
| 1. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代 | 2. 三内丸山遺跡 — 縄文時代 | 3. 登呂遺跡 — 弥生時代 | 4. 三内丸山遺跡 — 弥生時代 |
|------------------|------------------|----------------|------------------|
- 問11 山形県の西ノ前遺跡から出土した、その美しい造形から「縄文の女神」として国宝に指定されている土製品についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 縄文時代に作られた土偶の一種であり、当時の人々の祈りや願いが込められている。 | 2. 古墳時代の古墳の頂上付近から発見された埴輪であり、葬られた有力者の権威を示している。 | 3. 飛鳥時代の寺院跡から出土した仏像の原型であり、鎮護国家の思想を反映している。 | 4. 弥生時代の遺跡から見つかった土偶であり、大陸から伝わった稲作の成功を祈るために使われた。 |
|---|---|---|---|
- 問12 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。（2017年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため | 2. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため | 3. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため | 4. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため |
|------------------------------------|---------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問13 縄文時代における食生活の工夫と、それに伴う住環境の変化について述べた文として正しいものはどれですか。（2016年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 狩猟・採集による食料確保に加え、土器で煮炊きを行うことで食べられるものが増え、堅穴住居での定住が進んだ | 2. 大陸から伝わった稲作が広まったことで食料の余剰が生まれ、それを保管するために高床倉庫が普及した | 3. 青銅器や鉄器などの金属器を用いて効率的に食料を生産するようになり、外敵を防ぐための環濠集落が作られた | 4. 氷河期が終わり温暖になったことで大型動物が絶滅したため、移動を繰り返しながら洞窟で暮らすようになった |
|--|--|---|---|